福井県 公立高入試 社会 セット8 前半

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。
問1〜8（全14問の前半）

名前

出席番号　　必要な人は書く

問1　室町幕府の三代将軍である足利義満が深く信仰し、政治や文化の面で幕府と密接に結びついた仏教の宗派として、最も適切なものを次の中から選びなさい。

○ 天台宗　○ 真言宗　○ 禅宗　○ 浄土真宗

問2　日本の農業統計において、ピーマンやほうれん草の収穫量が全国1位、はくさいが全国2位となっている茨城県では、その地理的条件を活かした農業が盛んです。東京などの大消費地に隣接しているという利点を最大限に活用したこの農業形態の名称として、最も適切なものはどれですか。

○ 促成栽培　○ 抑制栽培　○ 近郊農業　○ 地産地消

問3　世界恐慌が発生した際、多くの植民地を持っていたイギリスやフランスが、自国と植民地の間の関税を低くし、他国に対しては高い関税をかけることで経済を守ろうとした政策を何といいますか。

○ 五カ年計画　○ ニューディール政策　○ 自由貿易政策　○ ブロック経済

問4　ある地域の気候を統計した結果、十二月から二月にかけての冬季の降水量が他の季節に比べて際立って多く、一月の平均気温が氷点下になっていました。このような特徴を持つ地域の気候について述べた文として、正しいものはどれですか。

○ 夏には太平洋側から吹き込む季節風の影響を強く受けて降水量が増えるが、冬は晴天が続くため、暖房器具の使用は少ない。

○ 冬の積雪が多いため、古くから家々の軒先を延長した「雁木（がんぎ）」と呼ばれる通路などが作られてきた。

○ 標高が高く、山々に囲まれた盆地であるため、夏と冬の気温差が激しく、年間を通して降水量は非常に少ない。

○ 一年を通して降水量が少なく、梅雨や台風による降水の影響もほとんど受けないため、大規模な溜池が点在する。

問5　日本の太平洋側の気候について、夏季にあたる6月から9月にかけて降水量のピークが見られる主な要因として、最も適切な組み合わせを選びなさい。

○ 南東の季節風と台風の影響　○ シベリア高気圧と梅雨前線の停滞

○ 対馬海流による湿った空気の流入　○ 北西の季節風と低気圧の影響

問6　日本の多くの都市で見られる、河口付近の標高が零メートルに近い平坦な地域における防災上の課題として、地形的特徴を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。

○ 内陸の盆地のような地形で熱がこもりやすいため、夏場に極端な高温となるヒートアイランド現象が起きやすい。

○ 山の麓に広がる扇状地のような地形であり、水はけが良すぎるために生活用水の確保が困難になりやすい。

○ 標高が低いため、台風による高潮や大雨の際に河川が氾濫すると、広範囲で浸水被害が発生しやすい。

○ 標高が高く急峻な斜面が多いため、地震の際に大規模な土砂崩れや山崩れが発生する危険性が非常に高い。

問7　日本などの中緯度地域の上空において、一年を通じて西から東に向かって絶えず吹いている強い風を何といいますか。

○ 上昇気流　○ 偏西風　○ 貿易風　○ 季節風（モンスーン）

問8　19世紀までは「国家からの自由」を求める自由権的思想が主流でしたが、資本主義の発展にともなう貧富の差の拡大などの社会問題を解決するために、20世紀になって新たに確立された、「人間らしい生活」の保障を国家に求める権利を何といいますか。

○ 請求権　○ 平等権　○ 社会権　○ 参政権

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう

福井県 公立高入試 社会 セット8 前半

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 室町幕府の三代将軍である足利義満が深く信仰し、政治や文化の面で幕府と密接に結びついた仏教の宗派として、最も適切なものを次の中から選びなさい。

- ○ 天台宗
- ○ 真言宗
- ● 禅宗
- ○ 浄土真宗

問2 日本の農業統計において、ピーマンやほうれん草の収穫量が全国1位、はくさいが全国2位となっている茨城県では、その地理的条件を活かした農業が盛んです。東京などの大消費地に隣接しているという利点を最大限に活用したこの農業形態の名称として、最も適切なものはどれですか。

- ○ 促成栽培
- ○ 抑制栽培
- ● 近郊農業
- ○ 地産地消

問3 世界恐慌が発生した際、多くの植民地を持っていたイギリスやフランスが、自国と植民地の間の関税を低くし、他国に対しては高い関税をかけることで経済を守ろうとした政策を何といいますか。

- ○ 五カ年計画
- ○ ニューディール政策
- ○ 自由貿易政策
- ● ブロック経済

問4 ある地域の気候を統計した結果、十二月から二月にかけての冬季の降水量が他の季節に比べて際立って多く、一月の平均気温が氷点下になっていました。このような特徴を持つ地域の気候について述べた文として、正しいものはどれですか。

- ○ 夏には太平洋側から吹き込む季節風の影響を強く受けて降水量が増えるが、冬は晴天が続くため、暖房器具の使用は少ない。
- ● 冬の積雪が多いため、古くから家々の軒先を延長した「雁木（がんぎ）」と呼ばれる通路などが作られてきた。
- ○ 標高が高く、山々に囲まれた盆地であるため、夏と冬の気温差が激しく、年間を通して降水量は非常に少ない。
- ○ 一年を通して降水量が少なく、梅雨や台風による降水の影響もほとんど受けないため、大規模な溜池が点在する。

問5 日本の太平洋側の気候について、夏季にあたる6月から9月にかけて降水量のピークが見られる主な要因として、最も適切な組み合わせを選びなさい。

- ● 南東の季節風と台風の影響
- ○ シベリア高気圧と梅雨前線の停滞
- ○ 対馬海流による湿った空気の流入
- ○ 北西の季節風と低気圧の影響

問6 日本の多くの都市で見られる、河口付近の標高が零メートルに近い平坦な地域における防災上の課題として、地形的特徴を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。

- ○ 内陸の盆地のような地形で熱がこもりやすいため、夏場に極端な高温となるヒートアイランド現象が起きやすい。
- ○ 山の麓に広がる扇状地のような地形であり、水はけが良すぎるために生活用水の確保が困難になりやすい。
- ● 標高が低いため、台風による高潮や大雨の際に河川が氾濫すると、広範囲で浸水被害が発生しやすい。
- ○ 標高が高く急峻な斜面が多いため、地震の際に大規模な土砂崩れや山崩れが発生する危険性が非常に高い。

問7 日本などの中緯度地域の上空において、一年を通じて西から東に向かって絶えず吹いている強い風を何といいますか。

- ○ 上昇気流
- ● 偏西風
- ○ 貿易風
- ○ 季節風（モンスーン）

問8 19世紀までは「国家からの自由」を求める自由権的思想が主流でしたが、資本主義の発展にともなう貧富の差の拡大などの社会問題を解決するために、20世紀になって新たに確立された、「人間らしい生活」の保障を国家に求める権利を何といいますか。

- ○ 請求権
- ○ 平等権
- ● 社会権
- ○ 参政権